

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	P.P.P.ヒマワリ！児島		
○保護者評価実施期間	2026年1月5日		～ 2026年1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2026年1月5日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者への状況共有、勉強会や茶話会などコミュニケーションを取る時間を設け、困り感や相談等を受けている。	保護者が送迎に来られる際、当日の様子を丁寧に伝えていく。また、連絡帳、電話連絡等も定期的に実施し活動の様子、頑張っていることの共有や保護者の方の困り感など傾聴し、共感しつつ、助言している。	日々の連絡や定期的な電話連絡の実施の他、年に4回程度親子体操や保護者の勉強会、茶話会を実施しているが、いつも決まったメンバーの出席になっているため、他の保護者の方も行ってみたい、話してみたいなど興味を持っていただけるような企画をしたい。
2	送迎の実施	・お仕事などで直接事業所の送迎が難しい、車を所有していない保護者の方にも療育を提供出来るようにしている。	・送迎を利用される保護者の方は引き渡しの際にコミュニケーションをとる時間は短いですが電話や連絡帳で情報共有は充実させたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会が設けられていない。	事業所内での活動にとどまっていることと、地域交流の足掛かりを作るための手段や積極的にアプローチができていない。	他事業所や他法人が実施している地域交流や地域へのはたらきかけについて情報収集する。 実施可能なものから部分的に実施していく。(保育園にも交流の依頼をしてみる。)
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会やきょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援が実施できていない。	保護者参加のイベントは両親で参加して下さるが、横の繋がりや交流にはつながっていない。また、きょうだい向けのイベントの実施もできていない。	行事やイベントによって保護者やきょうだいさんの繋がりが深まるような企画を検討したい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 P.P.P.ヒマワリ！児島

公表日 年 月 日

利用児童数 31名

回収数 26名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	1	1	1	・広いお部屋や狭いスペース、子どもがみんな安心できる作りになっていると思います。 ・部屋が狭いので十分にスペースが確保されているとは言えない。もっと部屋が広いと良いと思う。 ・スペースが確保されていると思う。 ・園庭は狭いですが、ホールは広くて教室は個々の机があり充分確保されていると思います。	・限りあるスペースを個別、集団のスペースに分けている。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25			1	・1人1人を見れるよう沢山の職員がいるように思う。 ・多すぎることはなく、少なすぎるということもありません。	基準配置以上には配置している。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	1			・視覚でわかりやすいようにイラスト化されていたり配慮を感じます。 ・絵や図を用いて分かりやすくなっている。 ・絵カードが所々に貼ってあり、目で見て何をするか分かりやすいように工夫されています。	・活動場所が、2階にある為移動などは転倒などに注意して行っている。 ・一日の動きなど子どもに分かりやすく伝える為に絵カード等を利用している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26				・いつ伺ってもキレイですし、娘もトイレがキレイだからおしっこがしやすいと言っていました。	・毎日職員で分担して掃除はしている。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	1			・親以上に理解していただいている部分もあると思います。 ・安心して任せられる。 ・施設の色々所に絵カードがあり、見たら分かるように工夫されています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	1			・面談や電話連絡にて話を聞くことがあるが、あっていると思う。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26				・相談しやすいです。 ・面談でして欲しいこと、子どもに必要なことを話した上で作成してもらえている。 ・今の娘に必要な支援が何なのかしっかり考えて作って下さっています。	・保護者の方との懇談、その後児発管、担当職員とで、子どものプランを作成している。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1			面談で密に相談して設定してもらっている。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1			必要なことをしてもらっているので満足している。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22			4	・新しい事に取り組んでいることをよく聞いています。 ・子どもの成長が遅いので、固定（似ている内容）になってしまうから仕方ないかも。 ・お勉強だけでなく、お出かけや体操等色々なことをしてもらっている。	

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2	3	10	・私が忘れていたかもしれませんが、思い当たるイベントに参加した記憶がありません。 ・交流しているか分からない。 ・他の子との交流はしているか分かりませんが、話を聞いた事はありません。	・近隣に保育園はあるものの交流の機会を作ることができていない。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25			1	・とても丁寧な説明をしていただきました。 ・説明が文書と口頭で説明がある。 ・面談で色々説明していただきました。	契約時に説明している。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26				面談で丁寧に説明してもらっている。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	1		1	・かがやき手帳など定期的に開催していただいている気がします。 ・茶話会や講演会が行われている。	かがやき手帳を書く会などを実施している。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	26				・電話連絡で密にこどもの状態を話してくれている。 ・娘のお迎えの時や月に1回面談で普段の様子を聞いています。	・電話連絡や送迎時などでこどもの様子をお伝えしている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25		1		月1回話してもらえ、連絡帳でも助言してもらっている。	・電話連絡や送迎時などで保護者の思いを傾聴している。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25				・沢山助けていただいています。 ・話をしすぎるくらいどの先生も話を聞いてもらえる。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	4	1	6	・基本イベントのある時は、兄弟は連れて来れないことが多い。 ・兄弟支援はわからないが、茶話会は定期的にあり楽しみです。 ・保護者同士の茶話会はありますが、きょうだい同士の交流はありません。	父母の会の活動はありませんが、定期的に茶話会を実施し、保護者同士の交流の場となっている。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	2		1	・窓口が沢山あって安心できました。申し入れをするようなことはないのですが、その先の対応はわかりかねますが、相談する機会もあり、その対応も早く安心している。	・重要事項説明書にて説明するとともに、事業所内に窓口担当者等を掲示している。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25			1	連絡帳や電話連絡で話をする事ができている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	1		3	・毎月通信で発信されている。 ・おたよりで行事等の連絡を定期的にして下さっています。	・毎月お便りを発行している。またその内容に、感染症に関する事、安全に関する事、栄養に関することなどを掲載している。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23			3	とても気を付けていると思う。		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23			3	・訓練は実際に見たわけではないですが、訓練の実施は毎月連絡帳で報告いただいています。 ・マニュアル化され、文書でも渡してもらっている。 ・定期的に避難訓練をして下さっているようです。	・災害時の訓練は月に1回実施している。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22			4	定期的に訓練が行われていてすごいと思います。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22			4	・安全に過ごせていると思います。 ・そのような計画は把握していません。	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25			1	・ケガの際の病院などの情報も説明してもらいました。 ・連絡帳で連絡が来ます。書けなかった時は、電話で共有があります。	

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	26			<ul style="list-style-type: none"> <li>・一度も通所を嫌がったことがありません。</li> <li>・楽しんでます。</li> <li>・毎日楽しみにしています。</li> <li>・こわがるようなことはありません。</li> </ul>	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26			<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスに乗るときにいつもニコニコです。</li> <li>・楽しみにしていて、行きたくないということがないです。</li> <li>・給食以外嫌がることはありません。</li> </ul>	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足以上の対応をいただいています。</li> <li>・とても満足している。</li> <li>・3年間通わせていただいて娘の出来ることが増えたのは、先生方のおかげです。ありがとうございます。</li> </ul>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		P.P.P.ヒマワリ！児島		公表日		年 月 日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	4	クラスの枠をこえて必要な児に必要な職員が個別対応している。	2階に活動の場所もあるが、エレベーターはなく、肢体の児にはよくない。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	4	パーティションを活用して空間を仕切ったり、写真や足型などを使って視覚的に分かりやすい工夫している。	園庭の遊具も少なく、砂場も整備も整っていない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	1	・毎日掃除ができています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13		クラス以外でも過ごせる部屋があり、個々の活動が十分できるようになっている。	パーティションが少なかったり、個別室が少ないと感じることはある。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	2		話し合える機会が少ない。(特にパートさんと)	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	1	支援コンサルタントより支援のアドバイスをいただくことで、支援の質の向上につながっている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13		人権会議、ケース会議など職員が共通して受けられる研修の機会が設けられている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	1			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12			クラス職員で情報共有しつつ考えられているが、日々の業務に追われ全体で共有する時間の確保が難しく、改善が必要だと感じている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11			同じ活動の流れができることで子どもが落ち着くこともあり、また人員の関係で難しい活動もある為、工夫が必要。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	1		朝礼、終礼で特記事項など情報共有をしている共有することが難しい職員がいる。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	5		・クラスの共有ノートを活用している。 ・それぞれの児の様子をPC上の記録で確認ができるようになっている。 ・バス添乗もあり、クラス職員が揃う機会が少ない。揃った日に、話し合い、改善したり工夫したりしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9	1		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	11			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	1		
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3				

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	・ライフパークの全天周映画の鑑賞 ・味野小学校交流・倉敷市民会館人形劇観劇 ・登園、降園時や電話連絡などで、保護者の方と共通理解の場が設けられている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	1		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	3	情報提供は行っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		年に2回実施	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12		年に2回個人懇談	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13		毎月1回電話連絡または面談を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	2	茶話会を行っている。	茶話会を行っているが、参加が少ない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12		毎月月初めにヒマワリだよりを発行している。お便りの中で、安全計画の取り組み、感染症についてなど情報共有を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	10		
非常時等の	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	1	毎月避難訓練は実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12			

対 応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		・毎月人権ひやりハットを退出することで、自分自身振り返る機会ができています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13		人権会議や人権ひやりハットの提出などで定期的に意識できる環境がある。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12			